

平成 31 年 4 月入学

佐賀大学大学院 学生募集要項

工学系研究科（博士後期課程）

一般入試（第2次学生募集）

AO入試（社会人・外国人留学生対象）

佐 賀 大 学

目 次

I	入試日程	1
II	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
III	工学系研究科（博士後期課程）学生募集要項	4
	i 一般入試	
	ii AO入試（社会人・外国人留学生対象）	
	iii 共通事項（入学手続，奨学金等）	
	iv 教育研究分野の内容，授業科目及び担当教員	
IV	佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内	21

環境・エネルギー科学グローバル教育プログラムについて

電子情報システム学コース電気電子工学部門・生産物質科学コース機械システム工学部門・社会循環システム学コース・先端融合工学コースでは，平成25年10月1日から，アジア諸国の発展と先端的科学技術開発の国際ネットワーク構築に貢献できるグローバル人材を育成するために，「環境・エネルギー科学グローバル教育プログラム」を開設しました。このプログラムでは日本人学生と外国人留学生が共学し，すべての教育研究指導が英語で行なわれます。

本プログラムを博士後期課程から履修できる日本人学生の受入人員は若干名で，TOEICスコアが650点程度の日本人の合格者を対象に希望者を募り選抜します。

外国人留学生に対しては，本プログラム用の入試を別途実施します。

個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については，入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む。）以外に，教育目的等（入学金・授業料免除，（入学金徴収猶予）及び奨学金等を含む。）に利用します。

※本学が取得した個人情報は，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

佐賀大学大学院への出願方法について

佐賀大学大学院（医学系研究科を除く）では、PDF フォームを利用した願書の受付を行っており、募集要項については、原則としてウェブサイトでご確認いただいております。

志願者は、出願に必要な書類を電子ファイルとして管理できますので、早く簡単に書類作成が可能です。

●出願までの手順（概略）

- ・本学ウェブサイトから PDF フォーム等必要な書類をダウンロードしてパソコンに保存してください。必要な書類については、本要項記載の「出願書類等」のページでご確認ください。
- ・志願票・受験票等に必要事項を入力後、印刷してください。
- ・検定料は、納付書を印刷し銀行で振込手続を行ってください。
- ・印刷した出願用封筒ラベルを市販の角形 2 号（240×332 ミリ）の封筒に貼付し、書類一式を入れて提出してください。なお出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。
- ・出願書類は手書きでもかまいません。

※ PDF フォームとは、PDF の閲覧に利用する無償の Adobe Reader で直接データを入力できるようにした PDF です。

※ Adobe Reader をお持ちでない方は、最新のプラグインを入手してください。

※ A4 サイズの印刷が可能なプリンタのない方、PDF が表示されない方は学務部入試課へ資料請求してください。

I 入試日程

【一般入試】

	第2次募集
出願期間	平成31年1月17日(木) ～1月24日(木)
試験日	平成31年2月26日(火)
合格者発表日	平成31年3月9日(土)
入学時期	平成31年4月

【AO入試】

	第1回	第2回	第3回	第4回
出願期間	平成30年6月1日(金) ～6月8日(金)	平成30年6月11日(月) ～7月13日(金)	平成30年7月17日(火) ～9月28日(金)	平成30年10月1日(月) ～平成31年1月24日(木)
試験期日	平成30年 6月29日(金)	平成30年 8月30日(木)	平成30年 11月2日(金)	平成31年 2月26日(火)
合格者 発表日	平成30年 7月10日(月)	平成30年 9月11日(火)	平成30年 11月13日(火)	平成31年 3月9日(土)
入学時期	平成30年10月 又は平成31年4月	平成30年10月 又は平成31年4月	平成31年4月	平成31年4月

※ 本要項発表時において、AO入試の第1回から第3回までは試験実施済み

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【1】求める学生像

工学系研究科は、理学及び工学の領域並びに理学及び医学の融合領域を含む関連の学問領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等、高度な専門的知識・能力を持つ職業人又は知識基盤社会を支える深い専門的知識・能力と幅広い視野を持つ多様な人材を養成し、もって人類の福祉、文化の進展に寄与することを目的とします。各専攻の求める学生像は以下の通りです。

■ システム創成科学専攻

電子情報システム学、生産物質科学、社会循環システム学又は先端融合工学の豊かな学識と高度な専門知識を持ち、学際的立場から自立した研究活動が遂行できる研究者・技術者を養成します。そのために、以下に示すような学生を求めています。

- ① 理工学分野の基礎学力、必要な専門分野での知識と強い関心を持つ人
- ② 高度な専門知識を習得し、社会に貢献することを目指す人
- ③ 高度な専門知識を活かして、自ら課題の解決に臨むことを目指す人
- ④ 学術交流により国際的に貢献することを目指す人

【2】入学者選抜の基本方針

工学系研究科の教育・研究理念に基づき、教育目的・教育目標・教育方針に沿った人材を育成するために、開放性、客観性、公平性を旨とした多様な入試方法と多面的な評価方法により入学者を受け入れます。

一般入試

入学の機会を広く保障するために、大学院受験資格を有する全ての者を対象とした一般入試を行います。本入試では、大学院で学ぶために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び研究遂行能力等を有しているかを、外国語の筆記試験、成績証明書、修士学位論文又は研究経過報告書及び研究計画書等についての口述試験、面接試験及び推薦書（任意）によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を有しているかを、面接試験と推薦書（任意）によって評価します。

AO入試

本入試では、大学院で学習するために必要な基礎学力、専門分野の専門的知識及び明確な問題意識や研究課題等を有しているか、研究・業務報告書、修士学位論文等についての口述試験、面接試験及び成績証明書によって評価します。また、各専攻に対する明確な志望動機や入学後の研究意欲等を、面接試験、推薦書（任意）と研究計画書によって評価します。

工学系研究科（博士後期課程）で学ぶために必要な能力や適性等とその評価方法

観点	入学後に必要な能力や適性等	評価方法	入試方法	対象専攻
知識・理解・思考・判断	大学院で学ぶために必要な汎用的な基礎学力及び専門的な知識	外国語の筆記試験によって、基礎学力及び専門分野の専門的知識を評価します。	一般入試	システム創成科学専攻
		成績証明書によって、最終出身学校での学業成績、学習態度を評価します。	一般入試 AO入試	システム創成科学専攻
	専門分野における学習能力や研究遂行能力	修士学位論文又は研究経過報告書についての口述試験と面接試験によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	一般入試	システム創成科学専攻
		研究・業務報告書、修士学位論文等についての口述試験と面接試験によって、専門分野での学習及び研究を遂行するための能力や資質を評価します。	AO入試	システム創成科学専攻
		研究計画書によって、これまでの研究概要と入学後の研究計画を評価します。	一般入試 AO入試	システム創成科学専攻
		研究業績調書によって、これまでの研究実績及び研究内容を評価します。	AO入試	システム創成科学専攻
	推薦書によって、推薦の理由を参考にします(任意)。	一般入試 AO入試	システム創成科学専攻	
興味・関心・態度・意欲	志望専攻で学ぶための明確な志望動機や入学後の意欲	面接試験と推薦書(任意)によって、志望専攻で学ぶ動機、意欲、積極性等を評価します。	一般入試 AO入試	システム創成科学専攻

Ⅲ 工学系研究科（博士後期課程）第2次学生募集要項

i 一般入試

1 募集人員

専攻	コース	募集人員
		4月入学
システム創成科学専攻	電子情報システム学コース	21人
	生産物質科学コース	
	社会循環システム学コース	
	先端融合工学コース	

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成31年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、第18条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
〔 文部科学大臣の指定した者とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上（入学する月（10月又は4月）の前までの間）研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（7）にかかる合格者のうち、「2年以上」という要件を入学する月（10月又は4月）の前で満たした者については、入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。
（注）5ページの「出願資格(7)及び(8)の認定について」を参照してください。〕
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日において満24歳以上である者（学校教育法施行規則第156条第5項）
（注）5ページの「出願資格(7)及び(8)の認定について」を参照してください。

出願資格(7)及び(8)の認定について

1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は、次の①及び②の要件を満たす者となります。

出願資格(8)に定める「個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」の範囲は、次の②の要件を満たす者となります。

① 大学を卒業した後、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上(入学する月(10月又は4月)の前までの間)研究に従事した者であること。

② 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者であること。

2 出願資格(7)及び(8)による出願希望者は、下記事項に留意の上、出願してください。

(1) 出願資格に関する事前審査を行いますので、出願を希望する者は、下記の期日までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書(様式9-1)」に「入学試験出願資格認定審査調書(別紙様式9-2)」, 最終出身学校の卒業証明書・成績証明書, 小学校からの履歴・職歴等(任意様式), 修士学位論文要旨・研究等経過報告書(様式4), 研究計画書(様式6)及び返信用封筒(長形3号の封筒に82円分の切手を貼付したもの)を添付して申し出てください。

【第2次募集】平成30年11月30日(金)17時まで

なお、出願希望者の経歴によっては、その他の書類を求めることがあります。

(2) 出願資格を有すると認定された者に対し、入学願書の受け付けを行います。

3 入学試験出願資格認定審査は、佐賀大学大学院工学系研究科において行い、これが終了するまで出願書類の受理を留保します。

4 出願資格(7)及び(8)に関する認定の結果は、下記の期日までに本人あて通知します。

【第2次募集】平成30年12月14日(金)

3 出願期間

(1) 出願期間

【第2次募集】平成31年1月17日(木)～1月24日(木)

①郵送の場合は、「簡易書留」とし、出願期間最終日の17時必着とします。

②持参の場合は、平日の9時から17時までとします。

③入試課ウェブサイト(http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) の「出願用封筒」に必要な事項を記入し、角形2号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(2) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(3) 受験票等の送付

受験票は、試験日の1週間前までに届くように郵送します。

期日までに受験票が届かない場合には、平日の9時から17時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

4 出願書類等（一般入試）

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

区 分	備 考
入 学 検 定 料 30,000 円	<p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。ただし、本学において平成 31 年 3 月に修士・博士前期課程を修了見込みの者は不要です。</p> <p>なお、次の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・ 検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	<p>上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C 票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。</p>
入学志願票（様式 1-1） 写 真 票（様式 2-1） 受 験 票（様式 3-1）	<p>※印以外の所定の欄をすべて記入してください。</p> <p>写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。</p>
成 績 証 明 書	<p>①出願資格の(1)により出願する者は、学部及び大学院修士・博士前期課程の成績証明書を提出してください。</p> <p>②出願資格の(2), (3), (4), (5), (6)又は(8)により出願する者は、成績証明書等を提出してください。</p> <p>③出願資格の(7)により出願する者は、学部の成績証明書を提出してください。</p>
修士・博士前期課程修了（見込み）証明書 （注 1）	<p>修士・博士前期課程修了（見込み）証明書を提出してください。</p> <p>なお、出願資格の(7)により出願する者は、学部の卒業証明書とします。</p>
修 士 の 学 位 論 文 等	<p>①修士学位論文を提出した者は、修士学位論文の写し及び要旨（様式 4 に 2,000 字以内、英語の場合は 1,000words 以内）を提出してください。</p> <p>平成 31 年 3 月に修士・博士前期課程を修了見込みの者は、修士学位論文の要旨を提出してください。</p> <p>②上記以外の者は、研究等経過報告書（様式 4 に 2,000 字以内、英語の場合は 1,000words 以内）を提出してください。</p> <p>なお、上記の①及び②以外に研究発表等の資料があれば、研究業績調書（様式 5）を添付の上、提出してください。</p>
研 究 計 画 書	<p>様式 6 に 1,000 字以内、英語の場合は 500words 以内</p>
推 薦 書	<p>様式 7 に出身大学の指導教員等又は官公庁、会社等の上司が記入の上、厳封したものを提出してください。（任意提出とします。）</p>
受 験 票 送 付 用 封 筒	<p>受験票を送付しますので、長形 3 号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82 円分の切手を貼り付けてください。</p>
住 所 届	<p>様式 12 に必要事項を記入してください。</p>

受 験 許 可 書	<p>次のいずれかに該当する者は、所属長の受験許可書（様式 8）を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他大学大学院博士後期課程に在学中の者 ・官公庁、会社等に在職中の者 <p>（ただし、退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書をもって受験許可書に代えることができます。この場合は、入学手続き時に退職証明書を提出してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学工学系研究科博士前期課程に社会人学生として在学中の者
在留資格を証明する書類	<ul style="list-style-type: none"> ○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カード又は外国人登録証明書の表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。
出願資格認定申請書・ 入学試験出願資格認定審査調書	<p>出願資格の(7)及び(8)により出願する者は、出願資格認定申請書（様式 9-1）及び入学試験出願資格認定審査調書（様式 9-2）を提出してください。</p>

（注 1）合格者について、平成 31 年 3 月修了見込みの者（本学出身者を除きます。）は「修了証明書」を入学手続き時に提出してください。

5 選考方法等

入学者の選考は、筆記試験、口述試験、面接、推薦書（任意提出）及び成績証明書等を総合して行います。ただし、本学において平成 31 年 3 月に修士・博士前期課程を修了見込みの者は、筆記試験を免除します。

(1) 試験期日等

区分	試験期日	試験科目	試験時間
第 2 次募集	平成 31 年 2 月 26 日（火）	筆記試験（英語） ^{（注 1）}	10：30～12：00
		口述試験・面接 ^{（注 2）}	13：00～

（注 1）本学において、修士・博士前期課程を修了見込みの者は、筆記試験を免除します。

（注 2）修士学位論文又は研究等経過報告書及び研究計画書等について行います。

(2) 集合時間及び場所

受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている試験室に（筆記試験免除者は面接控室に）試験開始 30 分前までに入室してください。

6 合格者発表

1 ページの入試日程を参照してください。

本学ウェブサイト（<http://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

ii AO入試（社会人・外国人留学生対象）

1 募集人員

専攻	コース	募集人員
		4月入学
システム創成科学専攻	電子情報システム学コース	若干人
	生産物質科学コース	
	社会循環システム学コース	
	先端融合工学コース	

2 出願資格

本研究科が実施する事前面接（11 ページ「3 出願手続」参照）を受けた者で、以下に該当する者となります。

【社会人対象】

下記〔出願資格〕のいずれかに該当する者で、2年以上（入学する月（10月又は4月）の前までの間）官公庁、企業又は教育機関等の現業に従事している者又は従事した者となります。

なお、合格者のうち「2年以上」という要件を入学する月（10月又は4月）の前で満たした者については、入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。

【外国人留学生対象】

日本の国籍を有しない者で、下記〔出願資格〕のいずれかに該当する者となります。

〔出願資格〕

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成31年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 外国の学校，第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，第18条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

文部科学大臣の指定した者とは，大学を卒業し，又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において2年以上（入学する月（10月又は4月）の前までの間）研究に従事した者で，大学院において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7)にかかる合格者のうち，「2年以上」という要件を入学する月（10月又は4月）の前で満たした者については，入学時にその旨の証明書を提出してください。その時点でこの要件を満たしていないことが判明した場合は入学を取り消します。

（注）下記「出願資格(7)及び(8)の認定について」を参照してください。

(8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で，平成31年3月31日において満24歳以上である者（学校教育法施行規則第156条第5項）

（注）下記「出願資格(7)及び(8)の認定について」を参照してください。

出願資格(7)及び(8)の認定について

1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」の範囲は，次の①及び②の要件を満たす者とします。

出願資格(8)に定める「個別の入学資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」の範囲は，次の②の要件を満たす者とします。

① 大学を卒業した後，又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において2年以上（入学する月（10月又は4月）の前までの間）研究に従事した者であること。

② 著書，学術論文，学術講演，学術報告，特許などにおいて修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者であること。

2 出願資格(7)及び(8)による出願希望者は，下記事項に留意の上，出願してください。

(1) 出願資格に関する事前審査を行いますので，出願を希望する者は，原則として各出願締め切り日の1か月前までに学務部入試課へ「出願資格認定申請書（様式9-1）」に「入学試験出願資格認定審査調書（別紙様式9-2）」，最終出身学校の卒業証明書・成績証明書，小学校からの履歴・職歴等（任意様式），修士学位論文要旨・研究経過報告書（様式4），研究計画書（様式6）及び返信用封筒（長形3号の封筒に82円分の切手を貼付したもの）を添付して申し出てください。

なお，出願希望者の経歴によっては，その他の書類を求めることがあります。

(2) 出願資格を有すると認定された者に対し，入学願書の受け付けを行います。

3 入学試験出願資格認定審査は，佐賀大学大学院工学系研究科において行い，これが終了するまで出願書類の受理を留保します。

4 出願資格(7)及び(8)に関する認定の結果は，速やかに本人あて通知します。

5 出願資格(7)及び(8)により出願予定の志願者は，出願資格の認定を受けた後に事前面接の手続きを行ってください。

3 出願手続

(1) 指導希望教員との事前面接

本試験では、出願前に指導希望教員による事前面接を実施します。

- ① 「事前面接票」(http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html からダウンロード) に必要事項を記入し、学務部入試課まで郵送してください。

なお持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。

- ② 事前面接票提出後、指導希望教員から連絡がありますので、入学後の研究計画等について事前面接を受けてください。

なお事前面接は、電子メール、インターネット会議システム等によるインタビューで代替できます。

- ③ 事前面接の結果は、事前面接実施後すみやかに通知しますので、通知の結果により出願を行ってください。

(注 1) 「事前面接票」の記入にあたっては、同票記載の〔記入上の注意〕に留意して記入してください。

(注 2) 出願前に事前面接を実施していない場合、希望の期日で受験することができないことがありますので、必ず事前面接を受けてください。

(注 3) その他不明な点がありましたら、学務部入試課 (0952-28-8178) まで連絡してください。

(2) 出願期間：1 ページの入試日程を参照してください。

- ① 持参の場合は、平日の 9 時から 17 時までとします。
- ② 郵送の場合は、「簡易書留」とし、出願締切日の 17 時まで(必着)とします。
- ③ 入試課ウェブサイト(http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html) の「出願用封筒」に必要事項を記入し、角形 2 号の封筒に貼付し提出してください。

なお、出願用封筒については、学務部入試課においても配布を行っています。

(注)出願資格(7)及び(8)により出願する者は、指定の期日までに事前審査を本学所定の様式により申し出てください。(10 ページの「出願資格(7)及び(8)の認定について」の 2 を参照してください。)

(3) 提出先：佐賀大学学務部入試課

(4) 受験票等の送付

- ① 受験票は、試験日の 1 週間前までに届くように、郵送します。
- ② 期日までに受験票が届かない場合には、平日の 9 時から 17 時までの間に学務部入試課まで、お問い合わせください。

4 出願書類等

下記の出願書類を入試課ウェブサイト（http://www.sao.saga-u.ac.jp/daigakuin/daigakuin_yoko.html）よりダウンロードして提出してください。

区 分	備 考	社会人 対象	外国人 留学生対象
入 学 検 定 料 (30,000円)	<p>本学所定の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。</p> <p>なお、次頁(注1)の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合 ・検定料を振り込み、本学に出願書類を提出したが、受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に振り込んだ場合 	○	○
検 定 料 振 込 証 明 台 紙	上記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「C票 検定料振込証明書」を台紙に貼り付けてください。	○	○
入 学 志 願 票 履 写 受 真 験 票	※印以外の所定の欄はすべて記入してください。 写真は上半身、脱帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを所定の欄に貼り付けてください。	○	○
成 績 証 明 書	<p>①出願資格の(1)により出願する者は、学部及び大学院 修士・博士前期課程の成績証明書を提出してください。</p> <p>②出願資格の(2), (3), (4), (5), (6)又は(8)により出願する者は、成績証明書等を提出してください。</p> <p>③出願資格の(7)により出願する者は、学部の成績証明書を提出してください。</p>	○	○
修 士 ・ 博 士 前 期 課 程 修 了 (見 込 み) 証 明 書 (注 1)	<p>修士・博士前期課程修了(見込み)証明書を提出してください。</p> <p>出願資格の(7)及び(8)により出願する者は、学部の卒業証明書とします。</p>	○	○
研 究 ・ 業 務 報 告 書, 修 士 の 学 位 論 文 等	<p>【社会人対象】</p> <p>○研究・業務報告書等 現在までに携わった研究・技術業務について、その内容を詳しく記入してください。(様式は任意。用紙はA4) なお、修士の学位を有する者は、修士学位論文の写し及び要旨(様式4に2,000字以内、英語の場合は1,000words以内)を上記報告書等に代えることができます。</p> <p>また、研究・業務報告書等に加えて修士学位論文の写し及び要旨を提出することもできます。</p> <p>平成31年3月に修士・博士前期課程を修了見込みの者は、修士学位論文の要旨を提出してください。</p> <p>上記以外に研究発表等の資料があれば、研究業績調書(様式5)を添付の上、提出してください。</p>	○	

	<p>【外国人留学生対象】 ①修士学位論文を提出した者は、修士学位論文の写し及び要旨（様式4に2,000字以内、英語の場合は1,000words以内）を提出してください。 平成31年3月に修士・博士前期課程を修了見込みの者は、修士学位論文の要旨を提出してください。 ②上記以外の者は、研究等経過報告書（様式4に2,000字以内、英語の場合は、1,000words以内）を提出してください。 なお、上記①及び②以外に研究発表等の資料があれば、研究業績調書（様式5）を添付の上、提出してください。</p>		○
研究計画書	様式6に1,000字以内、英語の場合は500words以内で記入してください。	○	○
推薦書	様式7に出身大学の指導教員等又は官公庁、会社等の上司が記入の上、厳封したものを提出してください。	任意提出	○
履歴書	様式11（日本語又は英語により記入されたもの）により提出してください。		○
返信用封筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所、氏名、郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、82円分の切手を貼り付けてください。	○	○
住所届	様式12に必要事項を記入してください。	○	○
受験許可書	<p>【社会人対象】 所属長の受験許可書（様式8）を提出してください。</p>	○	
	<p>【外国人留学生対象】 他大学大学院博士後期課程に在学中の者又は官公庁、会社等に在職中の者は、その所属長の受験許可書（様式8に日本語又は英語により記入したもの）を提出してください。 ただし、退職して入学する予定の者は、本人がその旨明記した文書をもって受験許可書に代えることができます。この場合は、入学手続き時に退職証明書を提出してください。</p>		○
在留資格を証明する書類	○日本国籍を有しない者で、現に日本国内に在住しているときは、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を提出してください。（在留カード又は外国人登録証明書の表裏両面をコピーしたものでも可） ○出願時に日本国内に在住していない者は、パスポートの写し（写真及び在留資格・期間の分かるページ）を提出してください。	該当者	○
出願資格認定申請書・入学試験出願資格認定審査調書	出願資格の(7)及び(8)により出願する者は、出願資格認定申請書（様式9-1）及び入学試験出願資格認定審査調書（様式9-2）を提出してください。	該当者	該当者

（注1）合格者について、平成31年3月修了見込みの者は、「修了証明書」を入学手続き時に提出してください。

5 選考方法等

入学者の選考は、書類審査、研究論文又は研究・業務報告書の審査、研究計画書、推薦書（任意提出）、面接等により行います。

6 試験期日及び場所

試験期日	試験区分	試験時間	試験場
1 ページの入試日程を参照してください。	面接 〔研究・業務内容についての 口述試験を含みます。〕	13:00～	佐賀大学工学部 佐賀市本庄町1番地

(注) 受験者は、受験票とともに送付される受験案内に記載されている面接控室に、試験開始 30 分前までに入室してください。

7 合格者発表

1 ページの入試日程を参照してください。

本学ウェブサイト（<http://www.saga-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者には本学所定の合格通知書をもって通知します。

なお、電話による可否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

iii 共通事項

1 入学手続

入学手続については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

入学手続は、郵送により行います。

入学手続期間

【第2次募集，AO入試第3・4回試験】平成30年3月24日（日）～3月27日（水）

※書類の提出は，入学手続期間最終日の17時までには必着とします。

期間内に入学手続をしなかった者は，入学辞退者とします。

提出書類は，誓約書及び学生カード等本学の指定する書類とします。（合格者に送付します。）

2 納入金

入学料：282,000円（入学手続時に納入してください。）

授業料：267,900円（前期・後期）〔年額535,800円〕

※この金額は，平成30年4月現在のものです。

（留意事項）

- ① 入学時又は在学中に納入金の改定が行われた場合には，改定後の入学料及び授業料を納入していただくこととなります。

なお，合格通知書送付の際，納入方法等改めてお知らせします。

- ② 授業料（前期分）は，入学手続時に納入する必要はありません。納入期間は，下記のとおりです。（入学後に付与される学籍番号が必要となります。）

【平成31年4月入学】平成31年4月3日（水）～5月31日（金）

- ③ 納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学料の免除及び徴収猶予ならびに授業料の免除については，合格者に送付する関係書類を熟読の上，学生生活課に申し出てください。

なお，入学料免除及び徴収猶予の申請をした者で，入学を辞退する場合は入学料の全額を納付してください。

3 奨学金

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構法に基づき，願い出により選考の上，次の金額が貸与されます。

・第一種奨学生（無利子）

貸与月額 80,000円又は122,000円

・第二種奨学生（有利子）

貸与月額 50,000円，80,000円，100,000円，130,000円，150,000円から選択

なお，この他に地方公共団体及び民間育英団体等の奨学金制度があります。詳しくは，次の問い合わせ先にお尋ねください。

- (2) 奨学金に関する問い合わせ先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学学務部学生生活課 奨学金担当

TEL 0952-28-8172

4 注意事項

- (1) 出願書類受理後は、いかなる理由があっても記載事項及び書類の変更は認めません。
また、提出書類（修士学位論文の写しを除きます。）の返却及び既納の入学検定料の返還はしません。
- (2) 提出書類は、本学所定の用紙に記入の際、パソコン等を使用しても差し支えありません。
- (3) 提出書類のうち、外国の大学で発行した成績証明書、修了証明書又は卒業証明書を提出する必要がある者で、原本を提出できない理由がある場合は、原本の写し（原本と相違ないことを証明できるものに限ります。）を提出してください。この場合は、入学試験の際に原本の提示を求めるので、必ず原本を持参してください。
- (4) 外国人留学生として出願する者で、出入国管理及び難民認定法において、大学入学資格に支障のない在留資格を有する者以外は、本学において法務省と協議の上、願書を受理します。
- (5) 提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願手続等に不明の点があれば、学務部入試課に照会してください。

iv 教育研究分野の内容，授業科目及び担当教員

専攻	コース	教育研究分野		授業科目	担当教員	
		名称	内容			
システム創成科学専攻	電子情報システム学コース	数理科学	数理基礎学	部分多様体特論 数論幾何学特論 数論幾何学特論 組合せ代数学特論 トポロジー特論 大域幾何学特論	教授 中川 泰宏 教授 市川 尚志 准教授 中村 健太郎 教授 寺井 直樹 准教授 庄田 敏宏 講師 猿子 幸弘	
			数理解析学	確率基礎学特論 非線形偏微分方程式特論 応用解析学特論	教授 半田 賢司 教授 梶木屋 龍治 准教授 日比野 雄嗣	
		知能情報システム学	知能情報学	センシングシステム特論 デジタル情報通信技術特論 生体情報学特論 教育システム情報特論 知覚情報システム特論 並列アルゴリズム特論 創発システム特論 ユビキタスコンピューティング特論 数値解析特論 統計的学習特論	教授 奥村 浩 教授 花田 英輔 教授 福田 修 教授 岡崎 泰久 教授 奥村 浩 教授 松前 進 准教授 中山 功一 准教授 大谷 誠 准教授 木村 拓馬 准教授 山口 暢彦	
				情報システム学	情報代数学特論 複雑系の科学特論 コード最適化特論 情報処理学特論 数値関数解析特論 数値くりこみ法特論	准教授 廣友 雅徳 教授 只木 進一 教授 山下 義行 准教授 掛下 哲郎 教授 皆本 晃弥 准教授 日永田 泰啓
				電気電子工学	情報通信 エレクトロニクス	教授 田中 徹 教授 豊田 一彦 教授 郭 其新 未定 准教授 和久屋 寛 未定 准教授 佐々木 伸一 准教授 原 重臣 准教授 高橋 和敏 准教授 高橋 和敏
		エネルギー エレクトロニクス	環境エネルギー工学特論 実環境計測評価特論 数値電気力学特論 プラズマ発生工学特論 パルスパワー工学特論 システム制御設計特論	教授 嘉数 誠 教授 大石 敏之 教授 古川 達也 教授 大津 康德 准教授 猪原 哲 教授 古川 達也		

専攻	コース	教育研究分野		授業科目	担当教員
		名称	内容		
システム創成科学専攻	生産物質科学コース	物理科学	基本物質物理学	宇宙論特論	教授 船久保 公一
				素粒子核分光学特論	教授 大隅 秀晃
		物性物理学	素粒子実験学特論	教授 杉山 晃	
				量子多体論特論	教授 河野 宏明
				素粒子論特論	教授 青木 一
				ハドロン物理学特論	准教授 橘 基
				素粒子論的宇宙論	准教授 高橋 智
				基本粒子実験物理学特論	准教授 房安 貴弘
				強相関係物理特論	教授 鄭 旭光
				量子光学特論	未 定
磁性体物性特論	准教授 岡山 泰				
	超伝導物理特論	准教授 真木 一			
ナノ物理学特論	准教授 石渡 洋一				
光物性物理学特論	准教授 東 純平				
低温物性特論	准教授 山内 一宏				
機械システム工学	熱流体エネルギー工学	熱エネルギー利用学特論	教授 宮良 明男		
		流体エネルギー創成工学特論	未 定		
機能創造システム学	流体機械システム学特論	教授 木上 洋一			
		熱エネルギー機器工学特論	教授 光武 雄一		
		熱エネルギー移動工学特論	准教授 仮屋 圭史		
		流体機器開発工学特論	准教授 塩見 憲正		
機器要素設計学特論	トライボロジー解析特論	教授 張 波			
		計算固体力学特論	准教授 馬渡 俊文		
		機械材料強度学特論	教授 萩原 世也		
		生産システム特論	准教授 只野 裕一		
		行動型ロボット特論	准教授 長谷川 裕之		
		適応・学習システム特論	教授 辻村 健		
		精密加工学特論	准教授 泉 清高		
		金属疲労学特論	教授 張 波		
		非鉄金属材料学特論	教授 服部 信祐		
		環境材料強度特論	准教授 森田 繁樹		
		機械システム制御特論	准教授 武富 紳也		
		教授 佐藤 和也			
海洋エネルギー学	海洋工学特論	未 定			
		海洋熱エネルギー創成工学特論	教授 池上 康之		
		海洋環境工学特論	准教授 今井 康貴		
		海洋熱エネルギー機器工学特論	准教授 有馬 博史		

専攻	コース	教育研究分野		授業科目	担当教員
		名称	内容		
システム創成科学専攻	社会循環システム学コース	循環物質化学	無機材料化学	複合錯体構造学特論	教授 鯉川 雅之
				無機電子材料特論	准教授 坂口 幸一
			有機材料化学	環境調和型有機化学特論	未定
				有機薄膜構造特論	教授 大石 祐司
		物質変換化学特論		准教授 成田 貴行	
		物質循環物理化学	機能蛋白質化学特論	教授 花本 猛士	
			生体分子構造特論	未定	
			高機能物質化学特論	教授 岡島 俊哉	
			固体機能材料工学特論	教授 山田 泰教	
		資源循環システム化学	計算機物質化学特論	准教授 江良 正直	
			両親媒性物質化学特論	教授 海野 雅司	
			環境制御化学特論	教授 富永 昌人	
分子認識化学特論	准教授 長田 聡史				
都市工学	建設システム工学	廃棄物工学特論	教授 高椋 利幸		
		分離機能分子工学特論	准教授 森貞 真太郎		
		基礎地盤工学特論	教授 柴 錦春		
		地盤材料学特論	准教授 末次 大輔		
		地盤材料解析学特論	教授 日野 剛徳		
		地域建築計画学特論	准教授 後藤 隆太郎		
		土質工学特論	未定		
	構造設計学特論	教授 井嶋 克志			
	都市・環境システム工学	計算工学特論	教授 帯屋 洋之		
		コンクリート工学特論	教授 伊藤 幸広		
水資源管理学特論		准教授 Narumol Vongthanasunthorn			
建築・都市デザイン学	水質制御工学特論	未定			
	環境システム工学特論	教授 山西 博幸			
	地域水系管理学特論	教授 大串 浩一郎			
	環境水理学特論	教授 大串 浩一郎			
	建築意匠学特論	未定			
	環境デザイン特論	准教授 中大窪 千晶			
	建築環境制御学特論	教授 小島 昌一			
都市・建築環境心理学特論	准教授 李 海峰				
地域産業システム学	景観デザイン学特論	教授 三島 伸雄			
	持続都市デザイン学特論	教授 有馬 隆文			
	地域建築学特論	准教授 後藤 隆太郎			
	地域産業政策特論	准教授 竹村 敏彦			
	農村開発	教授 品川 優			
	地域労働政策特論	未定			
	社会選択理論特論	教授 都築 治彦			
途上国開発特論	未定				
地域社会システム学	産業会計測定特論	教授 木戸田 力			
	政策システム分析特論	教授 中西 一			
	地域経済学特論	教授 張 韓模			
	都市地理学特論	教授 山下 宗利			
	地域比較文化学特論	准教授 中尾 友香梨			
住居環境学特論	環境生態学特論	教授 宮脇 博巳			
	住居環境学特論	教授 澤島 智明			

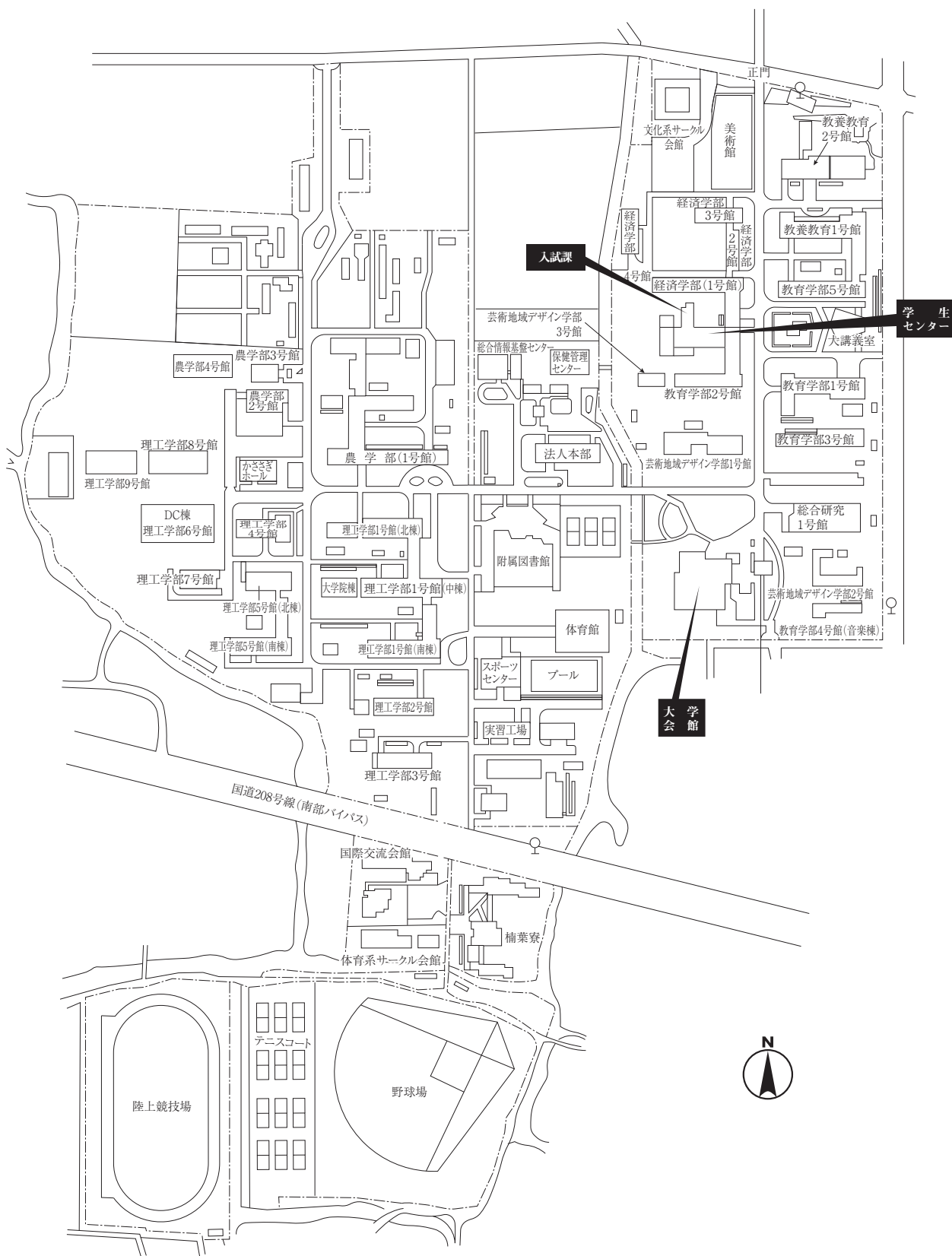
専攻	コース	教育研究分野		授業科目	担当教員
		名称	内容		
システム創成科学専攻	先端融合工学コース	先端融合工学	医工学	先端医工ロボティクス特論	教授 上野 直広
				先端生体システム工学特論	教授 後藤 聡
				先端医学電子工学特論	未定
				先端医用生体工学特論	准教授 杉 剛直
				先端生体流体工学特論	教授 松尾 繁
				先端医療機器工学特論	准教授 橋本 時忠
				先端生体数値流体工学特論	准教授 住 隆博
				先端医工電磁界解析特論	教授 村松 和弘
				先端医用計測工学特論	教授 寺本 顕武
				先端生体機能力学特論	准教授 イスラム・カーン
				先端医用画像処理工学特論	准教授 堂 蘭 浩
				先端知能計測工学特論	准教授 木本 晃
				先端医用工学特論	准教授 山岡 禎久
				機能材料工学	先端固体材料学特論
		先端複合材料強度学特論	教授 赤津 隆		
		先端材料複合工学特論	准教授 矢田 光徳		
		先端有機物理化学特論	教授 竹下 道範		
		先端機能分子物性特論	准教授 川喜田 英孝		
		先進材料学特論	教授 寺崎 正*		
		ナノテクノロジー応用特論	教授 松田 直樹*		
		先端耐熱材料工学特論	教授 田原 竜夫*		
		環境材料設計特論	教授 野中 一洋*		
		複合材料構造学特論	准教授 山田 浩志*		
		化学応用特論	教授 山下 健一*		

*は産総研九州センター（連携大学院）

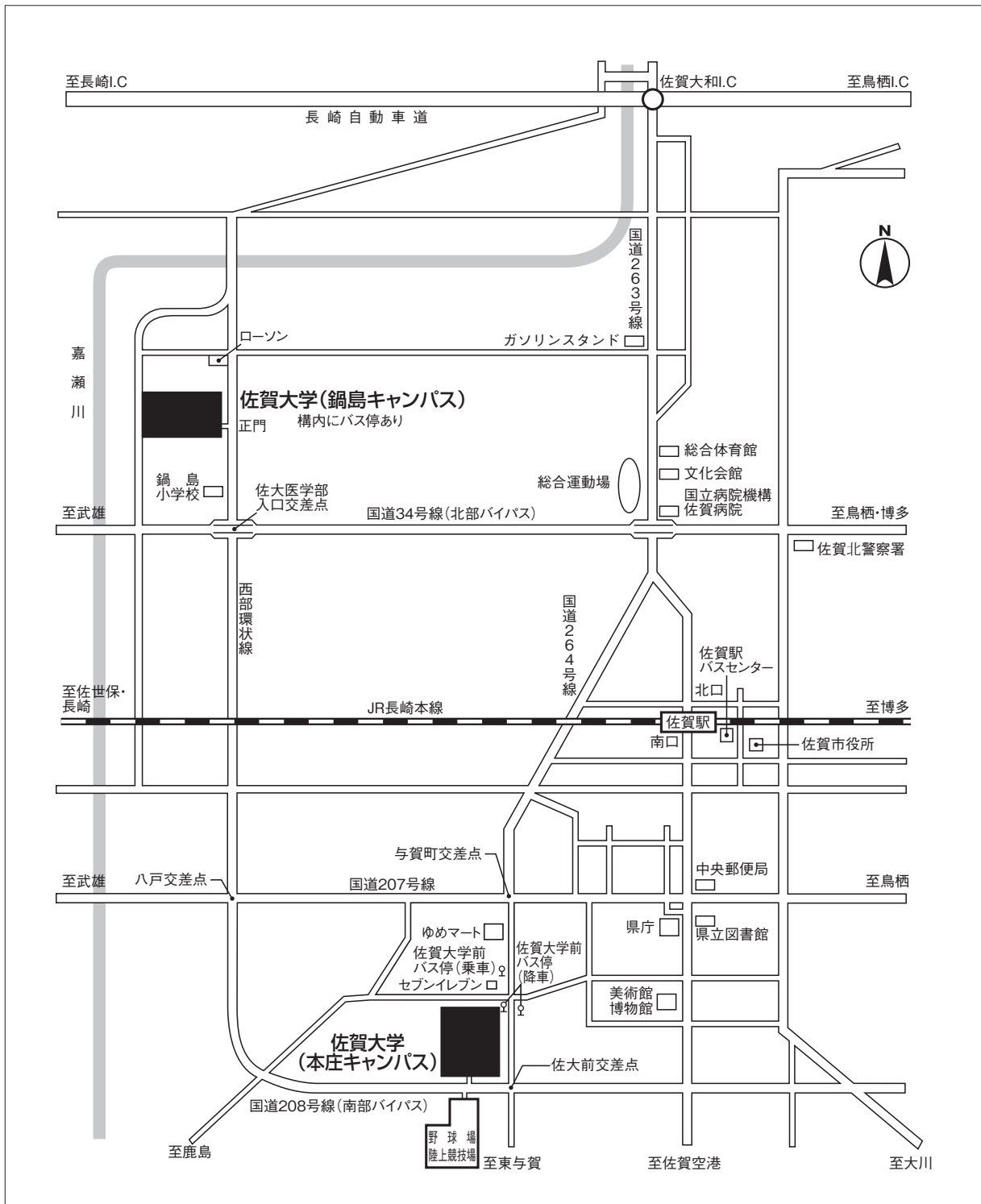
佐賀大学配置図及び佐賀大学への交通案内

佐賀大学（本庄キャンパス）配置図

[教育学部，芸術地域デザイン学部，経済学部，理工学部，農学部]



佐賀市内略図



佐賀大学（本庄キャンパス）への交通機関案内

- (1) 佐賀駅バスセンター4番のりばから市営バス〔4〕佐賀女子短大・高校線,〔11〕佐賀大学・西与賀線,〔12〕佐賀大学・東与賀線,〔4〕または〔63〕佐賀女子短大・高校線で約15分,「佐賀大学前」下車
- (2) 佐賀駅からタクシーで約10分

佐賀大学 学務部 入試課

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL 0952-28-8178

ウェブサイト <http://www.saga-u.ac.jp/>

e-mail contact@mail.admin.saga-u.ac.jp